

設立趣意書

今日、多くの皆様は、将来私達の街と夢のあるまち、誇りの持てるまちにしたいと思つておられるのではないかと。我々が故郷は、今日迄、吉田海、山、川と、この素晴らしの自然に因り、大江山、林有造、若村通俊等を始め、教養を施す上では、これに及ばぬ宿毛に違が無く、無心な館が宿毛に初め、郷校として設立された。その後、文館となつた郷校は、上村修蔵や、酒井三治(南嶺)、小野義真などの優秀な教育者を迎え、読書、習字、算術、作文などを教へた。その後の後進館や日進館の子供達の間には、やほり先入に倣つて“人材育成”に最も力を注ぐことが重要であると思ひます。

その中で、私達の郷土がさらに発展する為には、やほり先入に倣つて“人材育成”に最も力を注ぐことが重要であると思ひます。とりわけ将来を担う子供達(特に小、中、高校生)にとって、偉人の生き方を学ぶことはとても大切なことと思ひます。その偉人の一人である我が宿毛出身の大江山(ヒューマニスト=人道主義者)についで、彼のユニークな生き方を学ぶことは子供達自身の人間形成に何らかの指針となるのではないかと。何れも大江山を念め、多くの偉人を輩出した我が郷土を誇りに思い、愛する心(愛郷心)を育んで欲しいと思つておられます。

愛郷心を抱いた子供達が成長し、国内は勿論のこと、世界に羽ばたき、所謂、コスモポリタン(国際人)として活躍し、やがて世界を視野に入れ、私達のまちの発展に寄与して頂くことを大いに期待しております。私達のまちが彼らによつて、将来、品格のあるまち、伝統文化、芸術を愛する心豊かな故郷に発展することを望んでおられます。

私達は、未来に向い、このような子供達が一人でも多く育つてくれることを願ひ、その一助となればとの思いで、ここに卓団会を設立致しました。

「卓団会」の名称は 大江山と団む会の意味で命名致しました。

尚、大江山は 明治初期に マリアール入等事件 で我が国初の国際裁判を開き、自ら、裁判長となつて 奴隷解放したり、日本の部落解放の為に、その身を捧げた人物です。

平成26年(2014)12月10日

卓団会会長 大江貞男